

2018年7月9日

## 『大江健三郎全小説』（全15巻）刊行のお知らせ

講談社（本社：東京都文京区）は7月10日より、『大江健三郎全小説』15巻（講談社 創業110周年記念企画）の刊行を開始します。

そこで、この全15巻に詰まった5つの魅力をお伝えいたします。何卒よろしくお願いたします。

### ①レア作品の収録

雑誌初出以来、一度も書籍化されたことのない7つの短編およびいまや入手困難な6つの短編を収録。特に1961年の発表以来、政治的理由によって封印されてきた戦後文学最大のタブー、「政治少年死す」が初めて書籍化されます。つまり計13編のレア作品を収録。

### ②新しさ

今読んでこそその意味。ブラックバイト、LGBTに引きこもり、テロリスト、落ちこぼれ、社会不適応者……現代に通じる数々の登場人物たち。半世紀以上前に書かれていたとは思えない先見性と新鮮さに瞠目。

### ③切実さ

大江さんは私小説家ではありませんが、作品の中心には私的な体験があります。たとえば『個人的な体験』は突然障害児の父となった若者の物語、『取り替え子（チェンジリング）』には長年の親友であり妻の兄である映画監督を自殺で失う作家の存在が描かれています。その胸に迫る切実さ。

### ④救いと癒し

大江作品の登場人物たちは、人生のさまざまな問題で苦悶しています。「現代人が抱える困難が描かれている」というのがノーベル賞の授賞理由。その上で、大江文学の目的は「その痛みと傷から癒され、回復すること」。ここには「魂の救済」と「癒し」があります。

### ⑤わかりやすい解説

全15巻各巻に、親切で平易な解説が付いています。

詳しくは、こちら ([http://news.kodansha.co.jp/20170524\\_b01](http://news.kodansha.co.jp/20170524_b01)) もご覧ください。

---

#### ◆第1回配本第3巻 ISBN978-4-06-509000-8

57年間も封印されてきた「政治少年死す」ほか、雑誌発表以来一度も書籍化されたことない短編3編を収録。

#### ◆第1回配本第7巻 ISBN978-4-06-509001-5

ノーベル賞受賞の理由となった代表作『万延元年フットボール』と、伊坂幸太郎さんが大きな影響を受けたといわれる『洪水はわが魂に及び』を収録。

※7月10日に第1回配本分上記2冊を同時刊行（特別価格各5000円、税別）。以降9月より毎月1冊刊行いたします（各巻5800円、全15巻揃い定価8万5400円、いずれも税別）